

特集

中枢神経の 自己免疫性・炎症性疾患 ハンドブック

中枢神経の自己免疫性・炎症性疾患は個々の医師の力量が大きく問われる疾患群です。決してコモンディジーズというわけではありませんが、神経学の臨床に携わる者にとって必ず遭遇する疾患群であり、適切な診断・治療の可否が患者の予後を大きく左右します。また、コモンディジーズではないがゆえに指導者層の経験や知識もまちまちです。

臨床家として必ず最新の知識にキャッチアップしておかないといけないこの領域について、従来よりも規模の大きい1冊の増大特集にまとめました。

第1章「治療法概論」では、各治療法の特色や治療のコツなどについて、

第2章「疾患各論」では各疾患の概要や診断のポイント、治療法などについて、エキスパートの皆様にご解説をいただくことができました。

中枢神経の自己免疫性・炎症性疾患を扱ううえでこの上なく心強い1冊です。ぜひ手元に置いていただければ幸いです。



🔗 本特集で使用する主な略語についてはこちらをご覧ください。